

建設産業の担い手確保・育成に向けた取組

平成31年4月

一般財団法人 建設業振興基金

- | | |
|---|-------------------------------|
|  | 1. 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム・・・p05 |
|  | 2. 建設産業人材確保・育成推進協議会……………p22 |
|  | 3. 建設産業女性活躍推進事業……………p37 |
|  | 4. 建設労働者緊急育成支援事業……………p50 |
|  | 5. その他の担い手確保・育成に関する取組……………p55 |

建設産業政策2017+10 ～若い人たちに明日の建設産業を語ろう～

【背景】

- 建設産業は今後も、インフラや住宅等の整備や今後の老朽化への対応、さらには災害時の応急復旧など国民生活の安全・安心を支えるとともに、都市再生や地域活性化に資する施設整備など経済成長に貢献する役割を継続的に担っていく必要。
- 一方、全産業的に生産年齢人口の減少が進む中、「雇用の受け皿」として建設産業が個々の企業の取組だけで担い手を十分に確保できていた時代は既に終焉。
- 建設産業が今後も産業として成り立って行く上で源泉となる「現場力」を維持するとともに、「超スマート社会」の実現など国内外の「未来づくり」の一翼を担うことで若者に夢や希望を与えることができる産業であり続けるためには、個々の企業の一層の取組に加え、個々の企業を超えた施策が必要。

【政策目的】

- 個々の企業の一層の取組に加え、業界全体や発注者・設計者など様々な主体との連携による働き方改革や生産性向上等の取組を強力に推進し、国民の安全・安心や経済成長に持続的に貢献。
 - 良質な建設サービスを高い水準で確保し、個々の発注者や消費者の利益を実現し、信頼を確保。
- 10年後を見据えて、建設産業に関わる各種の「制度インフラ」を再構築

【業界内外の連携による働き方改革】

- 建設業従事者の継続的な処遇改善（賃金等）
 - －技能労働者の能力評価基準の策定と技能・経験に応じた処遇の実現（建設キャリアアップシステムの活用）
- 適切な工期設定、週休2日に向けた環境整備
 - －工期設定等に関する受発注者双方の責務の明確化、無理な工期設定を求める発注者への働きかけ
 - －適切な工期設定等のためのガイドラインの策定
- 働く人を大切にする業界・企業であることを見える化
 - －専門工事企業の評価制度の創設
 - －技能労働者の位置づけの明確化（建設企業が雇用する技能労働者の育成の責務等）
 - －許可に際しての労働者福祉の観点の強化
 - －人材育成体制の強化

【地域力の強化】

- 地域の多様な主体との連携を強化
 - －地域貢献に取り組む企業の評価（防災活動、建機保有等）
 - －市町村が主体となり建設産業の振興・発展を図る仕組み

業界外の協力も得て
行う働き方改革

業界外の協力も得て
行う生産性向上

建設企業 現場力

専門工事企業

元請企業

将来的な建設業従事者の減少

技能労働者 技術者 一人親方

技術者

建設関連企業

建築設計事務所
建設コンサルタント
測量企業
地質調査企業

- 個々の企業の取組
 - ・継続的な処遇改善（賃金等）
 - ・施工技術の向上
 - ・地域の守り手としての役割の維持

良質な建設
サービスの提供
・情報提供と説明

建設産業への
理解と信頼
・若年層や女性の入職
・地域との連携

相互関係の
透明性と緊張感

規律の再構築

働き方改革・生産性向上への理解と協力
・役割分担しつつ品質確保の求め

理解の広がり

国民
地域住民
消費者
入職予備軍

・良質なインフラサービス・建築
サービスの提供

・インフラ・建築へのニーズと品質確保の
求め
・良質なインフラ・建築サービスへの信頼

公共 国 地方公共団体

発注者

取組と規律の広がり

民間

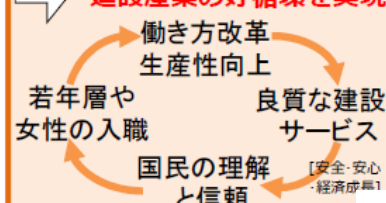
【業界内外の連携による生産性向上】

- 各プロセスにおけるICT化、手戻り・手待ちの防止
 - －全ての建設生産プロセスでICT等を活用するため、3次元データ等のプラットフォームを整備
- 施工に従事する者の配置・活用の最適化
 - －企業間における人材の効率的な活用（労働の平準化）
 - －ICTの進展等を踏まえた技術者の配置の見直し

【多様な主体との連携による良質な建設サービスの提供】

- 安心して発注できる環境の整備
 - －発注体制を補完するためのCM方式の制度化
 - －企業情報の提供や施工の説明による個人発注者の保護
- 施工の品質に直結する設計や工場製品の質の向上
 - －BIM・CIM等の適用範囲の拡大に向けた環境整備
 - －工場製品に起因して建設生産物に不具合が生じた場合の再発防止（報告徴収・立入検査、勧告等）

これらの取組を通じて、
建設産業の好循環を実現



1. いま、建設産業に 求められていることは？

「建設産業政策2017+10」より

「現場力」の維持

- ・建設業は、現場に優秀な担い手がしっかりいてこそ、「良質な建設サービス」を国民に提供することが可能。
- ・若年層や女性などの担い手確保・育成を通じた「現場力」の維持が不可欠！

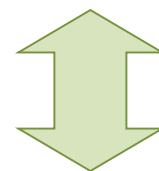
「地域力」の強化

- ・建設業は、災害列島・日本における「地域の守り手」、「地方創生の担い手」である。
- ・地域社会の持続性を確保していくため、都道府県・市町村・教育機関・金融機関等地域が一丸となった取組を推進することが必要。
→ 教育機関を始め地域の多様な主体と建設業の連携強化が重要！

もちろん、「働き方改革」、「生産性向上」等も重要！

2. いまどきの人にとって、 「働く」に当たっての条件とは？

- ・雇用が安定していること
(正社員としての雇用が継続し、安定していること)
- ・労働に見合った処遇を得られること
(他産業と比較して、見劣りしない賃金水準・社会保険)
- ・休日が確保され、WLBが充実していること
(他産業と比較して、見劣りしない休日日数や、長すぎない労働時間)
- ・将来に向けてのキャリアパスが描けること



「やりがい」

～地域の守り手、地方創生の担い手～

3. このような中で、建設産業への就職を考えてもらうためには・・・？

入職前

- ① **高校生**： インターンシップ・出前講座・現場見学会
- ② **小学生時代・中学生時代からの前広なPR**
～「体験学習」の機会の拡充～
- ③ **高校生**：資格取得への支援
- ④ **保護者**(特に**母親**)、**高校の教諭**の理解

入職後

- ⑤入職後**大事に育ててもらえる**という期待に応える～「**キャリアパス**」の見える化～
- ⑥建設産業への入職後には、**教育訓練の受講機会が等しく与えられる**仕組みをつくる

(一財)建設業振興基金における担い手確保・育成に向けた主な取組

建設産業の総合的な人材確保・育成対策(建設産業活性化会議中間とりまとめ:H26.6)

1. 技能者の処遇改善の徹底

2. 誇り(若手の早期活躍の推進)

3. 将来性(将来を見通すことのできる環境整備)

4. 教育訓練の充実強化
ハード・ソフト機能の充実強化

5. 女性の更なる活躍の推進

6. 建設生産システムの省力化・効率化・高度化

建設産業人材確保・育成方針策定会議

最終報告:H25.11

事務局:(一財)建設業振興基金

・全国各地域における教育訓練体系の構築
・中核的センターの確立 等

ソフト事業の充実・強化の一翼を担うため

「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」を設置(H26.10)

【コンソーシアム事業の概要】

地域連携ネットワークの構築支援

- ・地域における総合工事業団体、専門工事業団体、職業訓練校、教育機関、行政等からなる地域連携ネットワークを構築
- ・担い手確保・育成のための各種事業を実施

地域連携ネットワークにおける持続可能な教育訓練システムの構築につながる取組み

- プログラム・教材の提供
- 広報コンテンツの提供
- 情報共有 等

地域連携ネットワーク事業の具体化につながる一方策

中核的機能

教育訓練等基盤の充実・強化

- ・プログラム・教材等の整備
- ・講師の養成支援
- ・担い手確保・育成に関する情報等の集約及び提案
- ・若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進のためのコンテンツ整備

- プログラム・教材等の提供
- 講師養成支援
- 情報共有

職業訓練校のネットワークの構築

富士教育訓練センターを中心とする職業訓練校ネットワークを設置し、情報交換、相互協力を推進

- 広報コンテンツの構築・活用
- 情報共有

【建設労働者緊急育成支援事業】(厚生労働省)

- 厚生労働省受託事業
- 平成27年度からの5カ年事業
- 平成27、28、29、30年度は(一財)建設業振興基金が受託

【事業内容】

離転職者、未就職者等の建設業への入職を促進するため、本財団や地域の建設業団体を中心となって、関係機関と連携の下、求職者の「募集・職業訓練・就職斡旋」をパッケージにより実施。

【建設産業人材確保・育成推進協議会】

設立:平成5年(事務局:(一財)建設業振興基金)

※運営は国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課と共同

目的:若年者の就業促進、人材の育成・定着、その他建設産業における人材対策を推進

【主な事業】

作文コンクール、建設業界ガイドブックの発行、学校キャラバン、子ども霞が関見学デー、WEB「建設現場へGO!」におけるコンテンツ拡充など、近年は広報事業を中心に展開。

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム

- 建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者によるコンソーシアムを立ち上げ（26年10月）、地域における総合工事業団体、専門工事業団体、職業訓練校、教育機関等による地域ぐるみ、業界ぐるみの入職促進、育成、定着のための事業を支援。
- 事業推進に当たっては「アクションプログラム」を策定し、建設業振興基金に設置された「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」（5億円）を活用し、地域連携ネットワークの構築に要する経費について、平成26年度から5ヶ年を目途に支援。（「建設産業担い手確保・育成アクションプログラム第1版（26年10月29日）」、「第2版（27年4月22日）」、「第3版（28年4月28日）」、「第4版（29年4月18日）」）

【アクションプログラムの概要】

- 担い手不足が懸念される野丁場系の技能職種に当面の重点を置き、本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、教育訓練体系の構築支援。
- コンソーシアムの事業は以下の3本柱。

中核的機能

1. 地域連携ネットワーク構築支援

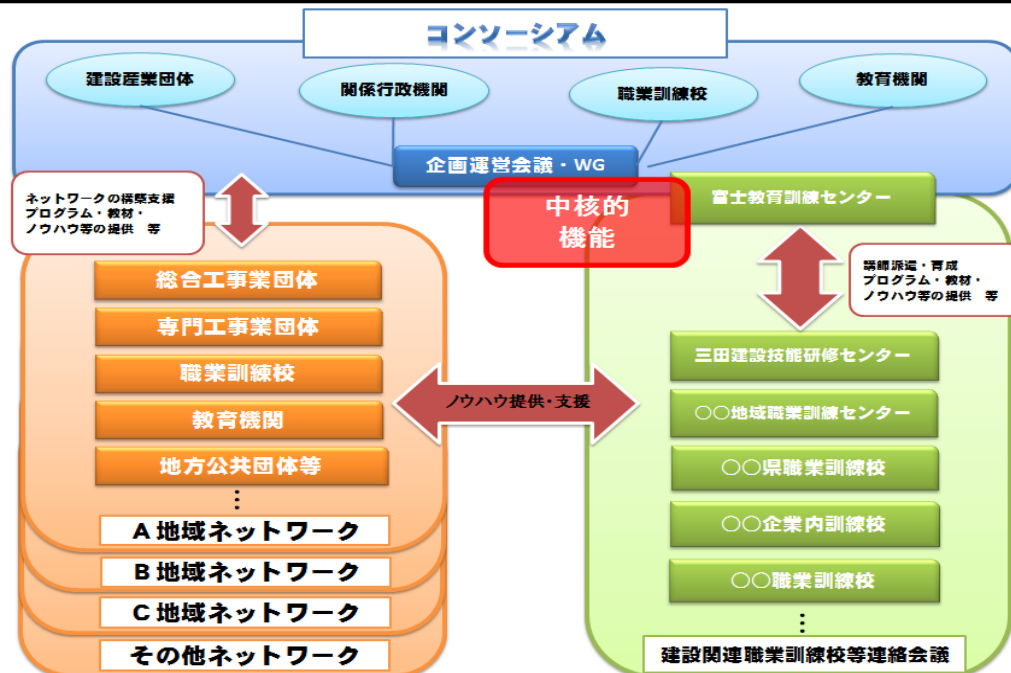
総合工事業団体、専門工事業団体、職業訓練校、教育機関、地方公共団体等からなる地域連携ネットワークによる担い手確保・育成のための取組みを支援。

2. 教育訓練等基盤の充実・強化

建設産業の担い手確保・育成に取り組む関係団体・機関が、効果的な教育訓練を行うための条件整備。

3. 職業訓練校ネットワークの構築

「教育訓練等基盤の充実・強化」の成果の共有・活用、及び職業訓練校間の状況交換・相互協力の推進。



中核的機能の具体的内容

地域における教育訓練を支援するため、プログラム・教材、コンテンツを整備・提供。当面、以下の事業を実施。

- ① 教育訓練を実施するための「職業能力基準（案）」の整備・導入
- ② 教育訓練カリキュラムの検証とプログラム・教材等の整備
- ③ 講師の養成支援
- ④ 入職の促進に資する情報の共有と広報コンテンツの整備

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム アクションプログラム(第5版)の概要

(平成30年4月17日策定)

赤字・・・第4版からの主な変更点

アクションプログラム(第5版)の基本的考え方

これまでのコンソーシアム事業の成果を踏まえつつ、平成30年度においても具体的な取組みを更に拡充・発展させていくこととする。引き続き、「若者を建設産業に取り戻す」との観点から、教育関係者をはじめとした関係各機関との緊密な情報交換の機会を確保し、強い信頼関係を構築するとともに、「**建設キャリアアップシステム**」等、**関連施策との連携を図りつつ**、各地における教育訓練の枠組みが本コンソーシアムの活動期間の終了後にあっても持続的なものとして発展されるべく、事業の伸展を図ることとする。

事業内容

1. 地域連携ネットワークの構築支援

地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域における担い手確保・育成のためのネットワーク構築を支援する。

(1) 地域連携ネットワークの新たな支援先の選定等

平成30年度は、新たに**1件**追加し、ネットワーク構築に向けた取組みを支援(**計43団体**)

(2) 地域連携ネットワークへの情報提供等及び事業推進に係る課題の整理

地域や取組み内容等の特性に応じ、持続可能な取組みとなることを目指し、関係団体等との連携のあり方や講師の確保・育成方法、国や県等の助成金の活用方策等について検討(地域連携ネットワークの事業内容を評価するための方策検討、教育機関との連携強化、経営者向けの情報提供等)

2. 教育訓練等基盤の充実・強化

教育訓練における中核的機能の役割を果たすため、関連機関と連携して、プログラム・教材や広報等の教育訓練基盤の充実・強化を図る。

(1) 職業能力基準及びプログラム・教材の拡充整備

① 職業能力基準の普及・定着に向けた取組み

- ・技能者のさらなるキャリアパスの見える化や処遇改善を目的に、これまで作成してきた職業能力基準(案)の**不断の充実、継続教育のためのプログラムの作成を進めるとともに、建設キャリアアップシステムと整合の取られた活用方策等の検討を行う。**
- ・関連団体等のニーズ等を踏まえつつ、対象職種の順次拡大を図る。

② 「建設現場で働くための基礎知識」の普及と展開等

- ・パワポ及び映像教材「建設現場で働くための基礎知識」について、地域連携ネットワークはもとより、建設労働者緊急育成支援事業、工業高等学校、専門学校等における普及推進を図る。また、用語集における項目の追加等、内容の充実を図り、**全体としては土木分野を追加し、内容を拡充する。**

③ 教員免許更新制に対応する免許状更新講習

- ・教育関係者との連携強化の一環として昨年度試行した教員免許更新制における選択領域講習を複数地区において開催する。

(2) 担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

- 「担い手確保・育成取組み事例集」において、地域の取組みをより効果的に支援するため、更に事例収集について充実強化。

(3) 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

① 人材協が運営するWEBサイトの拡充

ホームページ「見る・知る・働く 建設現場へGO!」、「18歳のハローワーク」、「建設産業で働く女性がカッコイイ」等の拡充。

② その他広報素材の充実

「建設業界ガイドブック」の教育機関等への提供。電子ライブラリーの素材(写真・イラスト等)を追加し、内容の充実を図る。

3. 職業訓練校等ネットワークの拡充

① 地域における職業訓練校等の講師発掘・養成の支援

各地域の職業訓練校講師の養成及び研修講師の資質向上を目的として**平成29年度に実施した「建設技能講師養成講座」を参考に、各地における講師養成の支援を行う。**

② その他職業訓練校等における諸課題への対応

「建設関連職業訓練校等連絡会議」を開催し、建設産業における担い手の育成に取り組む関係各機関の間の情報交換、相互協力を推進する。

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム 地域連携ネットワーク構築支援

【地域連携ネットワーク構築支援 予備調査・実施事業 29年度までの実績及び30年度選定先】

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実施事業 2団体 (一社)兵庫県建設業協会 長崎県建設産業団体連合会		事業継続	
	予備調査 5団体 (一財)みやぎ建設総合センター (一社)群馬県建設業協会 (一社)愛知県建設業協会 (一社)石川県建設業協会 関西鉄筋工業協同組合	実施事業 9団体 (一財)みやぎ建設総合センター (一社)福島県建設業協会 (一社)群馬県建設業協会 (一社)岐阜県建設業協会 (一社)静岡県建設業協会 (一社)愛知県建設業協会 (一社)三重県建設業協会 (一社)石川県建設業協会 関西鉄筋工業協同組合	事業継続	
	予備調査 14団体 (一社)北海道建設業協会 群馬県板金工業組合 (一社)埼玉県建設産業団体連合会 建設産業専門団体関東地区連合会 (一社)横浜建設業協会 (一社)長野県建設業協会 (一社)島根県建設業協会 (一社)広島県建設工業協会 (一社)山口県建設業協会 建設産業専門団体四国地区連合会 (一社)愛媛県建設業協会 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 (一社)佐賀県建設業協会 (一社)鹿児島県建設業協会	実施事業 15団体 (一社)北海道建設業協会 (一社)室蘭建設業協会 (一社)秋田県建設業協会 群馬県板金工業組合 (一社)埼玉県建設産業団体連合会 建設産業専門団体関東地区連合会 (一社)横浜建設業協会 (一社)長野県建設業協会 (一社)島根県建設業協会 (一社)山口県建設業協会 建設産業専門団体四国地区連合会 (一社)愛媛県建設業協会 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 (一社)佐賀県建設業協会 (一社)鹿児島県建設業協会	事業継続	
		予備調査 10団体 (一社)茨城県建設業協会 (一社)東京都中小建設業協会 (一社)新潟県建設業協会 (一社)山梨県建設業協会 (一社)滋賀県建設業協会 (一社)京都府建設業協会 (一社)和歌山県営繕協会 (一社)岡山県建設業協会 大分県建設産業団体連合会 (一社)沖縄県建設業協会	実施事業 9団体 (一社)茨城県建設業協会 (一社)東京都中小建設業協会 (一社)新潟県建設業協会 (一社)山梨県建設業協会 (一社)滋賀県建設業協会 (一社)京都府建設業協会 (一社)和歌山県営繕協会 大分県建設産業団体連合会 (一社)沖縄県建設業協会	
			実施事業 7団体 (一社)福井県建設業協会 (公財)鳥取県建設技術センター (一社)大阪府建団連 (協)中国建設専門工事業協会 但馬地域建設産業振興会 (一社)職人育成塾 (一社)奈良県建設業協会	
				実施事業 1団体 栃木県建設産業団体連合会
予備調査：5団体	19団体	10団体	—	—
実施事業：2団体	11団体	26団体	42団体	32団体+11団体(事業完了先)
合計：7団体	30団体	36団体	42団体	43団体

新入社員研修

1日目 ビジネスマナー

- ・社会人としての心構え
- ・挨拶・身だしなみ・仕事の基本(報・連・相)・マナーとは
- ・言葉づかい・態度(基本姿勢と動作)
- ・名刺交換・電話対応の基本

2日目 施工管理

- ・品質管理・工程管理・安全管理・原価計算・建設会社の経理)

3日目 現場の一日の流れ

- ・DVDアナザーストーリーズ「代々木体育館」
- ・若手先輩からのアドバイスと意見交換会



フォローアップ研修

- ・グループ自己紹介ワーク(プライオリティゲーム)
- ・キャリアとは
- ・ワークライフバランスとは
- ・入社からこれまでの振り返り
- ・キャリアデザインスゴロク
- ・振り返りと理想の未来



- ① **相談できる仲間**を作る
- ② 自分自身の**羅針盤**を持つ
- ③ **キャリアデザイン**と**ライフプラン**の実感を持つ



平成30年度「土木・建設基礎訓練コース」の概要

新潟県立新潟テクノスクール及びコベルコ教習所新潟教習センターにおいて、平成30年5月14日～6月22日の日程で土木・建設基礎訓練コースを開講し、会員企業10社19名が下記の講習等を滞りなく受講しました。

平成30年度「土木・建設基礎訓練コース」においては平成29年度の訓練コースをベースとし、会員企業やH29訓練参加者等からのアンケート及び要望を基にブラッシュアップしました。
主な変更点としては下記の通り。

＜主な変更点＞

- ①ガス溶接や測量等の一部訓練削減・縮小による期間の短縮（H29/54日間、H30/40日間）
- ②コベルコ教習所新潟教習センターに出向いての訓練の実施
- ③受講人数の増加（H29/10名、H30/19名）に伴う、2班制での対応

平成30年度 土木・建設基礎訓練コース 訓練スケジュール																																新潟県建設業協会			
H30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	5月時間計			
5月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	5月時間計			
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日									開講式	業界説明	土木工事概論	測量	A B 班・ アーク溶接			A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接		A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	玉掛け技	玉掛け技				
														オリエンテーション	安全教育	建築工事概論	測量	A B 班・ アーク溶接			A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接		A B 班・ アーク溶接	A B 班・ アーク溶接	玉掛け技	玉掛け技					
※																																			
訓練時間																																			
H30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	6月時間計				
6月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
	玉掛け技			小型車両	小型車両	ローラー	ローラー	刈払い機	自由研削		自由研削	高所作業車	高所作業車	移動クレーン	移動クレーン	移動クレーン	土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	後片づけ													
	玉掛け技			小型車両	小型車両	ローラー	刈払い機	自由研削			足場	高所作業車	移動クレーン	移動クレーン	移動クレーン	土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	修了式														
※																																			
訓練時間																																			

新潟県立テクノスクール

訓練時刻表(土木・建設基礎訓練コース)

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目
8:40～9:30	9:35～10:25	10:30～11:20	11:25～12:15	13:15～14:05	14:10～15:00	15:05～15:55

コベルコ教習所新潟教習センター

訓練時刻表(土木・建設基礎訓練コース・別添のとおり)



座学



土木基礎



土木実習

平成29・30年度における「土木・建設基礎訓練コース」を終えて

●各年度の訓練実施後に参加者を派遣した企業向けにアンケートを実施。
訓練期間: 研修期間が少し長いといった意見が多くみられた。(H29/54日間 → H30/40日間に短縮)
訓練内容: 必要性が低い訓練はないが、追加で必要な訓練や資格についての意見があった。

アンケート結果をもとに、次年度以降の訓練期間や訓練内容を再検討。
また、費用面等についても各種助成金等を活用しながらなるべく無料に近い形で今後も継続的に事業提供していけるように調整。
→H31年度以降の詳細等は次ページを参照

- その他、派遣企業側の感想
- ・新入社員2名を参加させて頂きましたが、参加する前は2名とも自信がなくおどおどしていましたが、参加後は自信に満ちて明るくなりました。他の研修生とも友達になり、大変充実してるとのことでした。
 - ・複数回に分けてでもこのような機会を継続的に提供いただけると会社としてはとてもありがたいです。
 - ・中小の建設会社では、新入社員の教育上大変助かっています。
 - ・参加した社員は、他社の参加者と交流できた事、短期間で資格取得できたことに感謝しています。

- 平成31年度以降の継続実施に向けての見直し内容等について
- 事業運営: 技能講習等については「人材開発支援助成金(厚生労働省)」及び「建設産業マンパワーアップ総合支援事業(新潟県)」を併用し、原則、企業負担がない方向で検討中。
- 募集人数: 20名(H29/10名、H30/20名) ○訓練場所: 新潟県立新潟テクノスクール及びコベルコ教習所新潟教習センター
- 訓練期間: 33日間(H29/54日間、H30/40日間) ○訓練内容: 【テクノスクール】座学、特別教育、土木実習
【コベルコ教習所】技能講習、特別教育

平成31年度 土木・建設基礎訓練コース 訓練スケジュール(案)

新潟県建設業協会																																			
H31	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	H31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
5月	開講式	安全教育	業界説明	測量	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・アーク溶接	A班・アーク溶接	B班・アーク溶接	A班・アーク溶接	B班・アーク溶接	A班・アーク溶接	B班・アーク溶接	A班・アーク溶接	B班・アーク溶接	小型車両			小型車両	高所作業車	移動クレーン	移動クレーン	移動クレーン			土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	後片づけ
	オリエンテーション		土木工事概論	建築工事概論	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	A班・アーク溶接	B班・ローラー	小型車両			小型車両	高所作業車	移動クレーン	移動クレーン	移動クレーン			土木実習	土木実習	土木実習	土木実習	修了式

企業実習 開催に至った経緯等について

インターンシップと企業実習との違い

両方の違いとして考えられるのは・・・

インターンシップ



- ・業界の様々な部分を体験
EX) 1日目:座学+現場見学
2日目:体験実習 等

- ・短い時間で、建設「業」を学ぶことが出来る
- ・建設業の1日の大まかな流れを知ることが出来る → 適切な現場
- ・自身も参加することで「職業体験」をすることが出来る

企業実習



- ・数ヶ月の実習期間
- ・多数の工種を見学可能
- ・自身も企業の一員として参加

- ・半月に1回ではあるが、数ヶ月に渡って実習を行うことで、
現場の工程を追うことが出来る（多数の工程を見る可能性が高い）
- ・会社の一員として行動することで「働く」といった部分を直接的に感じられる

生徒達の感想

- ・現場での仕事、雰囲気等がわかり、貴重な体験をした
- ・座学も有意義だった(社長と社員の信頼関係、株式会社に関すること 等々)
- ・専門的な知識だけでなく、働く上でのマナーや働くために大切なこと等を学べた
- ・社会においてはコミュニケーションが重要であることを改めて感じた

先生のコメント

- ・受け入れ体制(実習内容を含めて)をもう少し充実させるようにしてほしい

受け入れ企業のコメント

- ・興味を持って質問していた
- ・測量も実践的なものをやりたかったが、半月に1回では難しいので3日間くらい連続してきてほしい
- ・企業実習というくくりで見学に止まるのか、実務を経験してもらうのかは様子を見ている

信州創世のための新たな人材育成モデル事業の取組

●施工期間:約4ヶ月半 授業数:54時間 指導者人数:延べ42人

【連携学習の様子】



生徒・講師による
現状確認



現状調査結果をまとめ、
現地測量



測量結果から
埋設管の位置を確認し、
改良策を検討



丁張設置前に
確認と注意を
受けている様子



施工高が記載された丁張



老朽化した集水枡を撤去、
透水性舗装の現場を溝堀

学校側からの評価

- ・調査から施工に至るまでの**一連の段階を実際の現場運営と同様な形態で**実践的な学習は初めてであり、大変貴重な体験学習の場となった
- ・**地元企業**で活躍する技術者の指導と各段階での作業に携わる姿は、**卒業後の職業観(卒業後進路を地元企業で)**の認識に繋がるものであった
- ・気象の変化や想定外な事態の発生と対処など、公共性の高い土木分野が手掛ける工事の特徴と、工事に伴う様々な責任や管理、手掛けた工事がもたらす有益性を学べた
- ・予算施行に伴う制約が多い取り組みであったため、進め方で技術者の方に多くの負担をお願いする場面があった
- ・引き続き地元企業(業界)からの学習支援をいただきたい

教育訓練等基盤の充実・強化

「プログラム・教材等WG」、「職業能力基準フォローアップ小WG」を設置し、主に以下の活動を実施

職業能力基準(案)

今後も普及促進へ向けた活動を継続

○「**共通編**」 それぞれのレベル・技能者像を踏まえ、知識、社会性及び適性の各分野に分けて、各レベルに応じて求められる能力を段階的に整理し、その上で、建設現場に関わる職種に共通して求められる施工図、安全管理、現場管理、段取りと作業管理を合わせて作成。

○「**職種別**」 平成27年度 : 「とび」、「鉄筋」、「型枠」、「左官」
 平成28年度 : 「内装仕上」、「機械土工」、「電気工事」、「管工事」
 平成29年度 : 「コンクリート圧送」、「ダクト」、「塗装」、「トンネル(山岳)」
 平成30年度 : 前3年において策定した基準のフォローアップ及び新たな職種に係る基準(案)策定の検討

キャリアパスの
見える化

職業レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
名 称	初級技能者	中堅技能者	職長・熟練技能者	登録基幹技能者
経験年数(目安)	3年まで	4~10年まで	5~15年まで	10~15年以上
対象技能者イメージ	指示された作業を、手順に基づき、他の作業者と一緒に実施できる。	分担された作業を手順に基づいて正確に実施できる。職種によっては、施工図を作成し、自分で加工できる。	現場管理や工法、技術等について元請管理者と協議し、作業手順の組み立て、作業員への的確な指示・調整等ができる。	高度な技術・技能を有し、現場管理や工法、技術等について元請管理者と協議できる。また、他職種との調整など、QCDSの総合的な管理ができる。

教材「建設現場で働くための基礎知識(建築工事編:第一版)」

○ 主に建築躯体系新規入職者(レベル1)や入職希望者を対象とした教育訓練での利用を念頭に作成。

地域連携ネットワーク
等での活用を推進

【目次】

1. 建設業の役割とその魅力
2. 建築物の主な構造種別
3. 施工の体制と工事の流れ
4. 現場で活躍する専門職種の紹介
5. 建設現場の安全
6. 作業現場に入場する際の注意点
7. 建設現場作業に関する共通事項(図面等)
8. 仮設(足場・仮囲い)の共通事項
9. 工具と材料の共通事項
10. 現場作業の技能の基礎



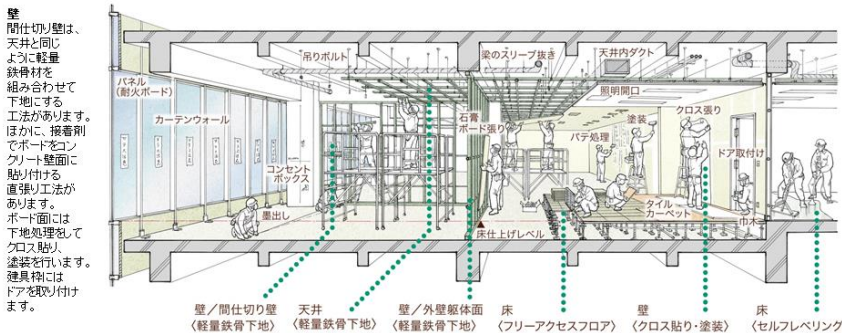
内装仕上工事編

- 平成28年度に作成した教材イラストにおいては、「施工の体制と工事の流れ」において、一般的な内装仕上工事の工程と作業内容を図示した。
- 今般、これを拡充すべく、内装仕上工事の基本的な流れを紹介する教材として、非住宅系建築工事における軽量鉄骨下地を中心とした金属工事、内装工事の施工方法及び使用材料等の内容を追加した。

施工の体制と工事の流れ

11.内装 天井・壁・床・建具(ドア・窓)・家具などとその下地を含めた工事が内装工事です。各部屋の用途に合わせて、天井、壁、床の順で施工を行います。

天井 軽量鉄骨下地の場合、躯体の裏に埋込んだインサートから吊りボルトを下げて、軽量鉄骨材を組み合わせて下地を作ります。その下地に仕上材を留めていきます。



床 情報機器の配線を取めるため、床下に空間を設けます。これによって、竣工後も配置替えなどが自由ができます(フリーアクセスフロア)。コンクリートスラブの上には、セルフレベリング材で高さを調整し、乾燥してから、シート類を貼ります(セルフレベリング)。

追加

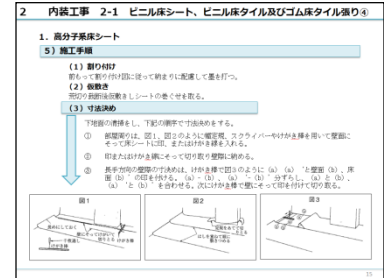
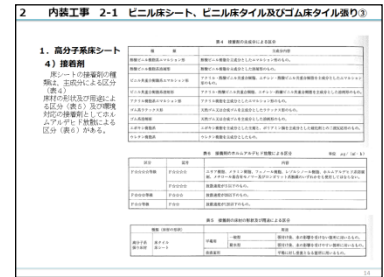
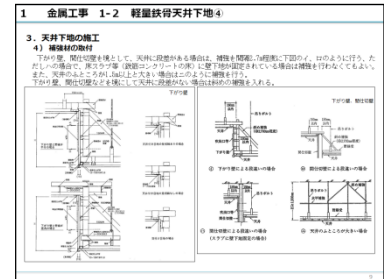
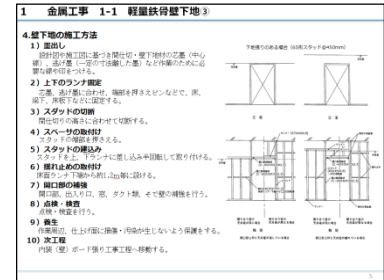
内装仕上工事編の構成

1.金属工事

- 1-1 軽量鉄骨壁下地
- 1-2 軽量鉄骨天井下地

2.内装工事

- 2-1 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
- 2-2 カーペット敷き
- 2-3 合成樹脂塗床
- 2-4 フローリング張り
- 2-5 畳敷き
- 2-6 せっこうボード、その他ボード・合板張り
- 2-7 壁紙張り



(建築工事編：第一版)に内装仕上工事を
約80ページ追加

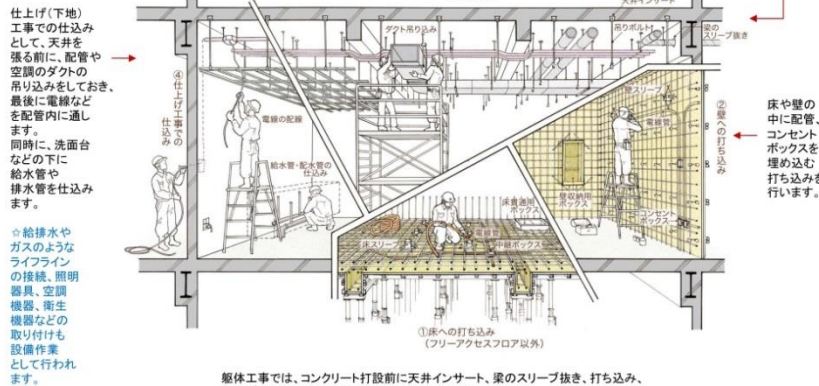
設備工事編

- 平成28年度に作成した教材イラストにて整備工事の概要は示していることから、建築工事における設備工事を対象として拡充整備を図る。
- 建築工事の全体工程に対する設備工事の関わり方（特に躯体工事と関連する工事）についての基礎的な内容を中心とした構成とし、使用する資材等を記載。

施工の体制と工事の流れ

13.設備(建築工事との関わり)

建物の中には、目に見えない配管や配線がたくさんめぐらされています。建築工事との共同作業でこれらの設備工事も行っています。



54

追加

設備工事編の構成

1.電気設備

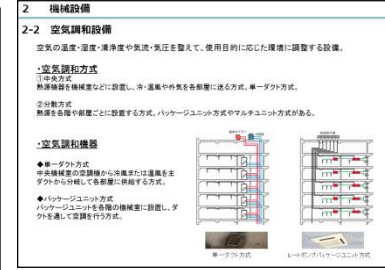
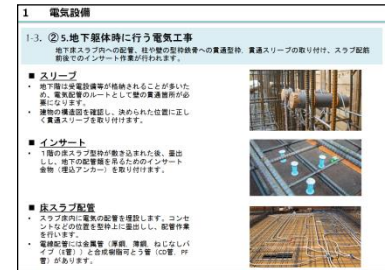
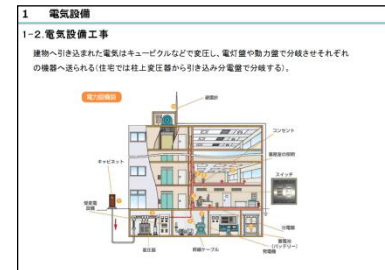
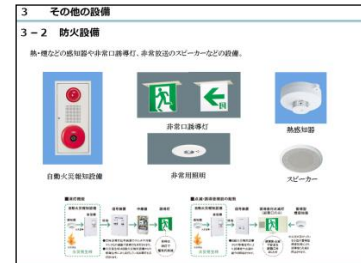
- 1-1 電気工作物と電気設備
- 1-2 電気設備工事
- 1-3 建築工事工程における電気工事の流れ
- 1-4 電灯設備
- 1-5 電灯設備やインターネットのLANに関する配線
- 1-6 通信・情報設備
- 1-7 自家発電設備

2.機械設備

- 2-1 給排水衛生設備
- 2-2 空調設備、換気・排煙設備

3. その他の設備

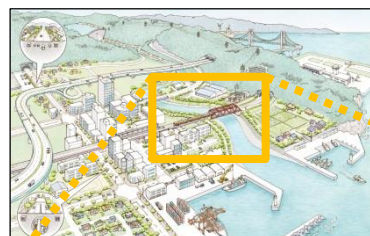
- 3-1 昇降機設備
- 3-2 防火設備



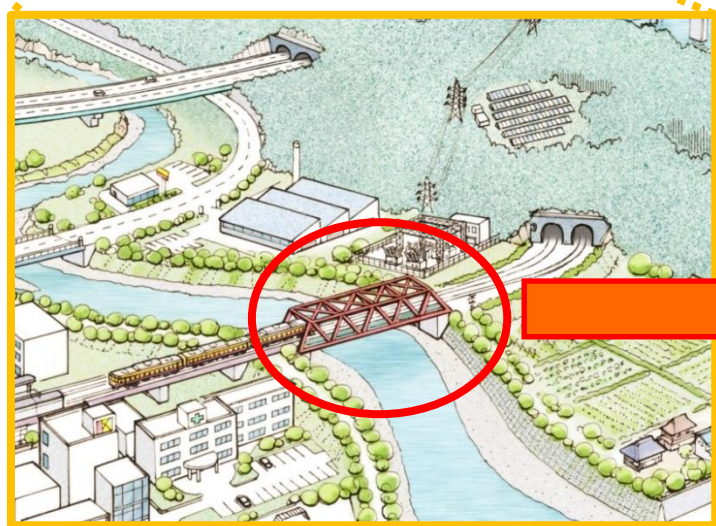
(建築工事編:第一版)に設備工事を
約30ページ追加

土木工事分野を対象とした教材の整備

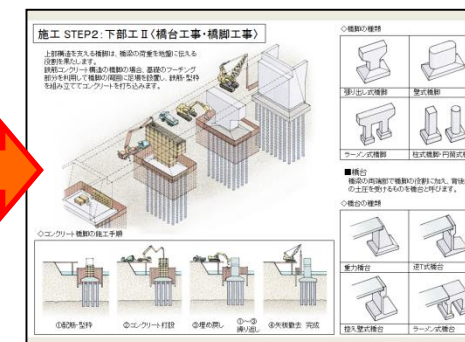
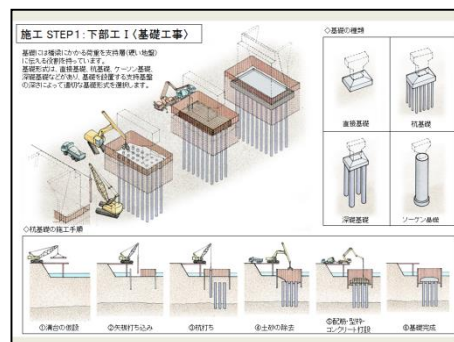
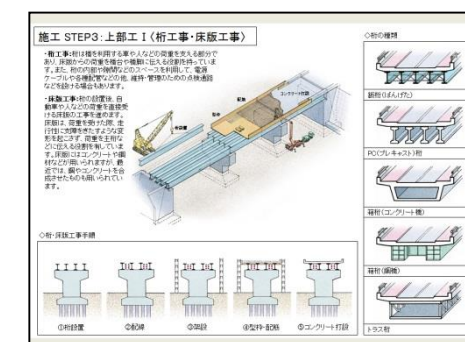
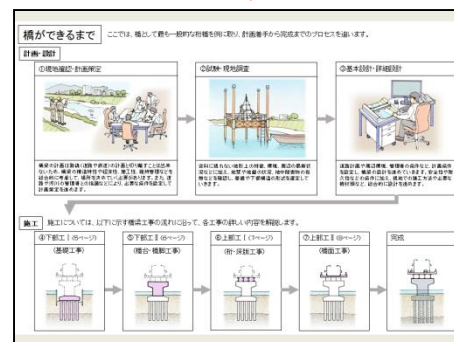
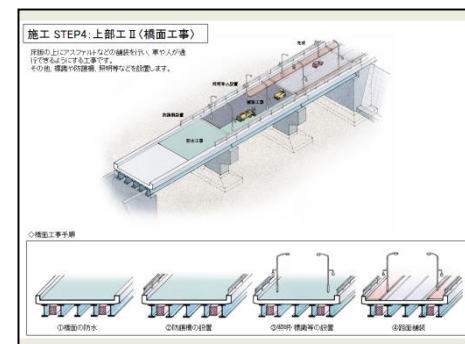
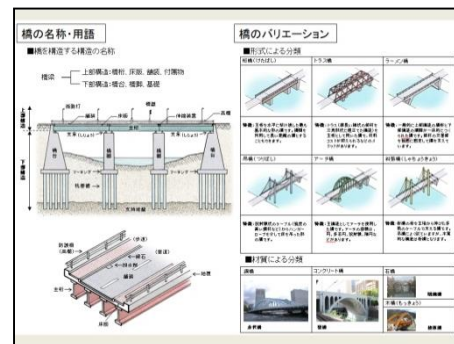
- 土木工事の対象範囲は広いので、イラスト等を用い、土木工事の全体像を示すとともに、まずは橋梁を対象とし、各部の名称、計画から施工までの流れ、各工事の流れなどにより橋梁工事の全体像を示した。



土木工事
全体イメージ



「橋梁」をテーマに施工手順を解説



スマホ世代に適した教育システムとは？

工事の順序・説明の順序を紹介

アニメーションを使用し工事の流れを紹介



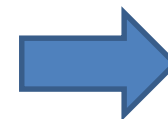
YouTubeにて動画を無料配信(第1章～第4章)

①「建設現場で働くための基礎知識」で検索

②WEBサイト「建設現場へGO！」からもアクセス可能

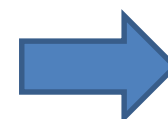
教材の「建設現場で働くための基礎知識」開発について

- 「建築工事編：第一版」を制作
(パワーポイント資料 約240ページ)
→CD-ROMを各所に配付



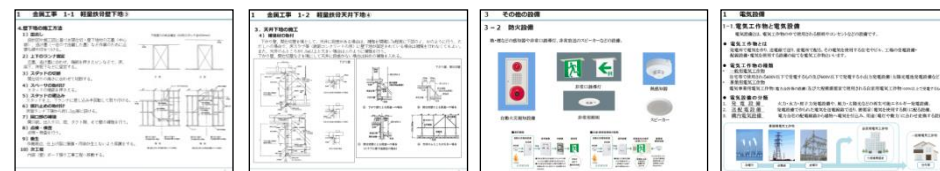
CD-ROMを配付

- 「建築工事編：第一版」の一部を映像化
→YouTubeに配信中

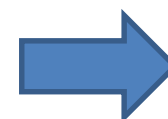


YouTubeに配信中

- 「内装・電気・設備工事」の内容拡充
(パワーポイント資料 約110ページ)

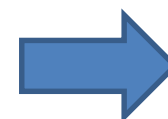


- 「土木工事編(案)」を制作中
(パワーポイント資料)



現在制作中

- 「土木工事編(案)」の映像版を制作中
→YouTubeに配信予定



現在製作中
YouTubeに配信予定

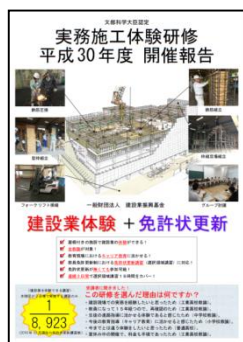
平成30年度 文部科学大臣認定「実務施工体験研修」について

教員免許更新制における免許状更新講習(選択領域)に対応

平成29年8月に実施した「実務施工体験研修」について、平成30年度は次の3箇所で開催した。

開設者はいずれも(一財)建設業振興基金

- (1) 8月 6日(月)～ 8日(水):三田建設技能研修センター(兵庫) NEW
- (2) 8月 8日(水)～10日(金):富士教育訓練センター(静岡)
- (3) 8月20日(月)～22日(水):福岡県建設専門工事業団体連合会(福岡) NEW



「実務施工体験研修開催報告」
(振興基金HPよりダウンロード可能)

■体験内容■

- | | | | | |
|------------------------------|----------|-------|------------|-----------|
| ・グループ討議「これからの教育のあり方と建設業への就職」 | ・測量機器の使用 | ・鉄筋組立 | ・足場組立・解体 | ・天井クレーン操作 |
| ・監理技術者講習映像「施工現場技術リポート」視聴 | ・施工位置測量 | ・墨出し | ・番線の結び方の確認 | ・玉掛け体験 |
| ・講義「建設業界の現状と課題」 | ・ガス圧接 | ・型枠製作 | ・フォークリフト操縦 | ・筆記試験 |
| ・講義「建設現場の安全管理」 | ・鉄筋加工 | ・型枠建込 | ・ユニック車操作 | |

平成31年度 開催日程

開設者はいずれも(一財)建設業振興基金

- (1) 8月 5日(月)～ 7日(水):三田建設技能研修センター(兵庫)
- (2) 8月 5日(月)～ 7日(水):福岡県建設専門工事業団体連合会(福岡)
- (3) 8月 7日(水)～ 9日(金):富士教育訓練センター(静岡)

グループ討議におけるテーマと意見

現在の取り組みで課題になっている事は何ですか？

- ・ **建設系の学科の魅力**を、小中学生・保護者などへ幅広くPRしたいが、その機会に乏しい（工業高校教諭）。
- ・ 入学した1年生に対し、高校で学ぶ前の**復習**が必要となることが多いため、結果として授業時間が足りなくなってしまう（工業高校教諭）。
- ・ **キャリア教育**の観点からさまざまな職業体験をさせたいが、相談窓口がどこかわからない（小学校教諭）。
- ・ **高校卒業後**、大学進学以外の選択肢を情報として与える機会に乏しい（高等学校普通科教諭）。

児童・生徒に対し、どのような方法で将来やりたいことを考えさせていますか？

- ・ インターンシップ、現場見学など、**体験的な内容**や、**卒業生**による講義、講演等の実施（工業高校教諭）。
- ・ 土木の魅力や役割、さまざまな現場があることなどを**自らの経験を基に**伝えている（工業高校教諭）。
- ・ **資格取得に向けた講習**等の際、これが将来何に役立つのかをしっかりと説明している（工業高校教諭）。
- ・ **夢ノート**を活用するなど、将来の自立と自律を促すための具体的なビジョンを書かせている（中学校教諭）。
- ・ 将来を思い描き、目標を立て、その**目標に向け努力**することの重要性を伝えている（小学校教諭）。
- ・ **「何歳になっても学ぶ姿勢を忘れない」**ことを自分の経験を踏まえて話す（工業高校教諭）。
- ・ 色々な職業の方の話や、職業体験などを通して、**人生設計や夢**を持たせ、実現のための目標を考えさせていく。特に3年生では、進学する学校選択のみでなく、**生き方の指導**を心がける（工業高校教諭）。

児童・生徒の個性・興味を踏まえ、どのようにコミュニケーションをとっていますか？

- ・ **建設業に興味無く入学した生徒**には、**その魅力**について**実体験を踏まえた紹介**をすることで、3年間の目標を見つけさせる（工業高校教諭）。
- ・ 様々な体験行事・学習での感想や進路希望調査、毎日担任とやりとりするノート、面談、普段の会話などから本人の興味関心や適性、学力などを学年職員で情報を共有し、**多面的な生徒理解**に努める。生徒には興味のある高校にはできるだけ多く**オープンスクールに参加して体験**させ、**高校の先生や生徒に直接聞いてくる**ように勧める。**家庭で進路についてじっくり話す機会を持つ**ように保護者にも協力してもらう。生徒の主体的な選択・決定を支援するため、**学年職員や保護者との連携**を深める。（中学校教諭）

生徒や保護者は、建設業をどう見えていますか？

- ・ **つくることの素晴らしさ、やりがい**、を感じることができる一方で、依然として3Kのイメージが先行しており、これが払拭されていないように感じる（工業高校教諭）
- ・ 保護者としては、屋外作業で常に風雨にさらされ、寒暖の差も激しい建設現場の**厳しい環境**に就かせることに**抵抗がある**ようである（工業高校教諭）。



建設産業人材確保・育成推進協議会の設立及び体制

平成5年8月、若年者の入職促進と併せて、人材対策全般についての活動を行う建設産業人材確保・育成推進協議会（以下「人材協」という）を設立。事務局は（一財）建設業振興基金に設置し、事務の運営は（一財）建設業振興基金と国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課が共同で行う。

○元請団体、専門工事業団体

○中央職業能力開発協会、勤労者退職金共済機構、建設業労働災害防止協会、建設業福祉共済団

○各都道府県若年建設従事者入職促進協議会又はこれに相当する機能を有する団体 等 により構成

組織図

建設産業人材確保・育成推進協議会 運営委員会

各都道府県建設産業人材確保・育成推進協議会等

企画分科会

広報分科会（建設産業戦略的広報推進協議会）

（一社）日本建設業連合会

（一社）全国建設業協会

（一社）全国中小建設業協会

（一社）日本建設業経営協会

（一社）日本道路建設業協会

（一社）日本埋立浚渫協会

全国建設業協同組合連合会

（一社）全国建設産業団体連合会

（一社）日本海上起重技術協会

全国浚渫業協会

全国ポンプ・圧送船協会

日本港湾空港建設協会連合会

（一社）日本型枠工事業協会

（一社）日本造園組合連合会

全国圧接業協同組合連合会

（一社）建設産業専門団体連合会

（一社）日本建設躯体工事業団体連合会

（一社）日本造園建設業協会

（一社）鉄骨建設業協会

（一社）日本鳶工業連合会

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

（一社）日本機械土工協会

（一社）全国基礎工事業団体連合会

（一社）日本基礎建設協会

（一社）全国コンクリート圧送事業団体連合会

（一社）全国クレーン建設業協会

ダイヤモンド工事業協同組合

（一社）日本アンカー協会

（一社）全国防水工事業協会

日本建設インテリア事業協同組合連合会

（一社）全国建設室内工事業協会

（一社）全国タイル業協会

（一社）日本建築板金協会

（一社）日本左官業組合連合会

（一社）全国道路標識・標示業協会

（一社）全日本瓦工事業連盟

（一社）全国中小建築工事業団体連合会

（一社）日本タイル煉瓦工事工業会

（一社）カーテンウォール・防火開口部協会

（一社）日本塗装工業会

全国マスチック事業協同組合連合会

日本外壁仕上業協同組合連合会

（一社）日本ウレタン断熱協会

日本室内装飾事業協同組合連合会

（一社）日本シャッター・ドア協会

（一社）全国地質調査業協会連合会

（一社）建設コンサルタンツ協会

（一社）全国測量設計業協会連合会

（一社）日本建設機械レンタル協会

（一社）日本計装工業会

消防施設工事協会

（一社）日本電設工業協会

（一社）日本空調衛生工事業協会

全国管工事業協同組合連合会

（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

（一社）プレストレスト・コンクリート工事業協会

（公社）全国解体工事業団体連合会

日本金属工事業協同組合

全国建設弘済協議会

（職）全国建設産業教育訓練協会 等

平成30年度「作文コンクール」

【募集期間】 **平成30年5月7日～7月10日**

【国土交通大臣賞授与式】 平成30年10月5日(金)

○社会人の作文コンクール「私たちの主張」では、「私たちの主張 ～未来を創造する建設業～」をテーマに、建設業がもたらす「夢」や「憧れ」、建設業の仕事を選んだ動機、仕事のやりがいや自分の目標、これから就職しようとする若者へのメッセージやアドバイス等、建設産業のイメージアップにつながるテーマで、建設業従事者より作文を募集。**平成30年度は、応募総数431作品より、国土交通大臣賞2名、土地・建設産業局長賞3名、佳作11名を選出。**

○「高校生の作文コンクール」では、『「建設業の未来」を担う高校生の君たちへ～』をテーマに、建設業に対するイメージ、好きな建物、構造物（ダム・橋梁等）あるいは将来造りたい建物等、建設業へ就業した場合の5年後、10年後の自分等をテーマとして、全国の工業高校の建築学科、土木学科等の在校生より作文を募集。

平成30年度は、応募総数 1,157作品より、国土交通大臣賞1名、土地・建設産業局長賞3名、佳作10名を選出。国土交通大臣賞、土地・建設産業局長賞を掲載した入賞作品集を作成して配布。



近年の応募数

	H30	H29	H28
高校生	1,157	1,235	1,290
社会人	431	503	452



平成30年度「私たちの主張」入賞作品

賞	都道府県	タイトル	氏名	年齢	所属企業
国土交通大臣賞	宮城	建設会社と共に歩んでみつけた「宝物」	佐藤 孝義	54	河北建設株式会社
	岐阜	愛されるふるさとづくりのために	野原 愛子	52	株式会社野原組
土地・建設産業局長賞	宮城	夢を仕事に	津場 一誠	25	株式会社橋本店
	山形	建設現場のその先に	安彦 陽子	36	沼田建設株式会社
	岐阜	物作りの大好きな若者と未来を創ろう	錦戸 豪	41	株式会社ニシノ

平成30年度「高校生の作文コンクール」入賞作品

賞	都道府県	タイトル	氏名	学校名	学年
国土交通大臣賞	愛媛	大切にしたい言葉	曾我部 七海	愛媛県立松山工業高等学校	3年
	静岡	国際協力の現場へ	村上 莞和	静岡県立浜松工業高等学校	2年
土地・建設産業局長賞	愛媛	建築の魅力に関する一考察	堂本 美帆	愛媛県立松山工業高等学校	3年
	長崎	誇れる職業	井手 萌香	長崎県立長崎工業高等学校	3年



担い手確保・育成に関する事業説明会の開催

【日時】平成30年7月11日(水)13:30~16:30

【場所】(一財)建設業振興基金5階 501会議室 約50名出席

国土交通省、厚生労働省、法務省、中小企業庁、自衛隊援護協会から、建設産業における担い手確保・育成について(国交省)、建設人材の確保・育成策荷関する取組、中小企業等担い手育成支援事業について(厚労省)、刑務所出所者の就業受入について(法務省)、中小企業・小規模事業者人手不足対応ガイドラインの概要等(中企庁)、退職自衛官の再就職について(自衛隊援護協会)について、説明が行われた。

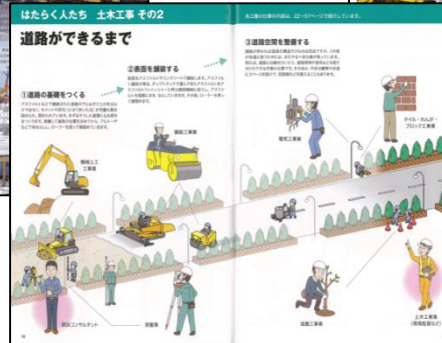


建設業界ガイドブックの作成・配布

「建設業界ガイドブック」を平成30年3月に改訂した。今後数年間の継続的な活用を前提とし、そのための写真の大幅差し替え、関連文言の修正、人材協の協賛団体に関わる職種ページの追加を行った。

建設業法第2条1項に係る別表(建設工事の種類、建設工事の例示等)と、建設業界ガイドブック内の個別ページのリンク付けを行った(下記例)。

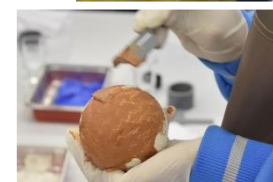
建設工事の種類	業種	建設工事の内容	建設工事の例示	建設工事の区分の考え方	関連ページ
左官工事	左官 工 事 業	工作物に壁土、モルタル、漆くい、プaster、繊維等をこて塗り、吹付け、又ははり付ける工事	左官工事、モルタル工事、モルタル防水工事、吹付け工事、とぎ出し工事、洗い出し工事	①防水モルタルを用いた防水工事は左官工事業、防水工事業どちらの業種の許可でも施工可能である。 ②ラス張り工事及び乾式壁工事については、通常、左官工事を行う際の準備作業を行う際の準備作業として当然に含まれているものである。 ～以下略～	××



「国土交通省学校キャラバン」の開催

平成30年度の学校キャラバンは、工業高校2校、中学校1校、小学校2校において実施した。
中学校での開催においては、左官の材料を使い、光る泥団子づくりと測量機器とスケールを使い寸法を測り、教室の図面の作成。
小学校では、かなな削り体験、ドローン操縦、ロボットスーツ着用体験、住宅の模型制作、保護具の着用などを体験。

キャラバンは平成26年から平成30年12月末までで開催回数22回、参加者は2,033名になる。



平成29年度「国土交通省学校キャラバン」開催実績及び予定

学校名	学科	学年	人数	日付	協力団体等
東京都立 南葛飾高等学校	普通	1-2	希望者 10名	7/3 (月)	—
さいたま市立 七里中学校	—	全	266名	8/31 (木)	(株)JM・大和ハウス工業(株)・埼玉県立いずみ高等学校 埼玉県立大宮工業高等学校・(一社)埼玉県建設業協会 全国低層住宅労務安全協議会
さいたま市立 文蔵小学校	—	6	121名	12/15 (金)	(株)JM・大和ハウス工業(株)・埼玉県立大宮工業高等学校・じゅうたく小町・(一社)日本建設業連合会・(株)竹中工務店
神奈川県立 磯子工業高等学校	建設科 建築コース	2	33名	3/19 (月)	関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協) 神奈川建設重機協同組合・全国クレーン建設業協会 神奈川県支部

平成30年度「国土交通省学校キャラバン」開催実績

学校名	学科	学年	人数	日付	協力団体等
埼玉県立 大宮工業高等学校	建築科	1	80名	7/11 (水)	戸田建設(株)
さいたま市立 泰平中学校	—	1-3	47名	9/15(土)	全国低層住宅労務安全協議会(じゅうたく小町部会) (一社)日本左官業組合連合会
千葉市立 鶴沢小学校	—	5・6	163名	10/2 (火)	(一社)日本建設業連合会(けんせつ小町委員会・大成建設(株))、(株)JM 全国建設労働組合総連合 千葉土建一般労働組合
さいたま市立 大宮西小学校	—	1	80名	12/14(金)	(一社)日本建設業連合会(けんせつ小町委員会・西武建設(株))、(株)JM 大和ハウス工業(株) 全国低層住宅労務安全協議会(じゅうたく小町部会)
神奈川県立 磯子工業高等学校	建設科 建築コース	2	35名	3/15 (金)	関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)、五栄土木(株) 神奈川建設重機協同組合・全国クレーン建設業協会 神奈川県支部

「国土交通省学校キャラバン」の開催

年度	学校名	学科	学年 参加者数	日付	協力団体等
平成26年度	1. 埼玉県立熊谷工業高等学校	建築科	2年生 35人	10/30(木)	(株)大林組、(株)鈴木組
	2. 千葉県立東総工業高等学校	建設科	1年生 40名(女子3名)	11/17(月)	(株)大林組、(株)鈴木組
	3. 埼玉県立熊谷工業高等学校	土木科	1年生 40人	12/11(火)	清水建設(株)、大綱建設(株)
	4. 埼玉県立大宮工業高等学校	建築科	1年生 77名	12/16(金)	(株)大林組、(株)鈴木組
	5. 東京都立田無工業高等学校	都市工学科	1年生 38名、2年生 25名	12/19(金)	(株)JM、(株)みやび、ICHIDAI、(株)大林組、(株)鈴木組
平成27年度	1. さいたま市立新和小学校	—	6年生 27名	10/26(月)	関東地方整備局、(公社)土木学会
	2. さいたま市立春里中学校	—	1年生 260名	10/31(土)	関東地方整備局、(公社)土木学会、(一社)埼玉県左官業協会、(株)アキュラホーム、大和ハウス工業(株)
	3. 埼玉県立春日部工業高等学校	建築科	2年生 75名	2/3(水)	(株)JM
	4. 埼玉県立鳩山高等学校	普通科 情報管理科	2年生 53名、2年生 42名	2/18(木)	—
平成28年度	1. 都立葛西工業高等学校	建築科	2年生 39名(女子3名)	4/27(水)	(株)JM
	2. さいたま市立大宮西中学校	—	1年生137名、2年生169名	8/31(水)	(株)JM、大和ハウス工業(株)、(一社)埼玉県左官業協会、佐藤工業(株)、日本工業大学
	3. 千葉県立安房拓心高等学校	総合学科 土木系列	2年生 24名(女子2名)	11/30(水)	千葉県鉄筋業協同組合((株)ダイニッセイ、(有)ハリマ)
	4. さいたま市立大谷口小学校	—	6年生 94名	1/21(土)	(株)アキュラホーム、(株)JM、大和ハウス工業(株)、国土交通省関東地方整備局、全国低層住宅労務安全協議会
	5. 神奈川県立磯子工業高等学校	建設科 建築コース	2年生 36名(女子2名)	3/8(水)	関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)、神奈川建設重機協同組合、全国クレーン建設業協会 神奈川県支部
平成29年度	1. 都立南葛飾高等学校	普通科	6名	7/3(月)	—
	2. さいたま市立七里中学校	—	1年生 72名 2年生 78名 3年生 87名	8/31(木)	全国低層住宅安全労務協議会、埼玉県立いずみ高等学校、(株)JM、大和ハウス工業(株)、(一社)埼玉県建設業協会、埼玉県立大宮工業高等学校
	3. さいたま市立文蔵小学校	—	6年生 109名	12/15(金)	全国低層住宅労務安全協議会(じゅうたく小町部会)、埼玉県立大宮工業高等学校、(株)JM、大和ハウス工業(株)、(一社)日本建設業連合会(けんせつ小町委員会、(株)竹中工務店)
	4. 神奈川県立磯子工業高等学校	建設科 建築コース	2年生 28名(女子5名)	3/19(月)	関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)、神奈川建設重機協同組合、全国クレーン建設業協会 神奈川県支部
平成30年度	1. 埼玉県立大宮工業高等学校	建築科	1年生 80名	7/11(水)	戸田建設(株)
	2. さいたま市立泰平中学校	—	1～3年生 47名	9/15(土)	全国低層住宅労務安全協議会(じゅうたく小町部会)、(一社)日本左官業組合連合会
	3. 千葉市立鶴沢小学校	—	5・6年生 163名	10/2(火)	(一社)日本建設業連合会(けんせつ小町委員会・大成建設(株))、(株)JM、全国建設労働組合総連合 千葉土建一般労働組合
	4. さいたま市立大宮西小学校	—	6年生 152名	12/14(金)	(一社)日本建設業連合会(けんせつ小町委員会・西武建設(株))、(株)JM、大和ハウス工業(株)、全国低層住宅労務安全協議会(じゅうたく小町部会)
	5. 神奈川県立磯子工業高等学校	建設科 建築コース	2年生 35名(女子4名)	3/15(金)	関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)、神奈川建設重機協同組合、五栄土木(株)、全国クレーン建設業協会 神奈川県支部

(平成31年3月22日現在)開催回数 **23回**

参加者数合計 **2,068名**

「現場見学会マニュアル」の改訂

このマニュアルは、建設業と建設現場で働く人についてより良く知って頂くことを目的に開催する、小・中・高校生や一般の方々を対象とした現場見学会を円滑に行うために作成されたものですが、今年度、内容の拡充を行いました。

現場見学会がどのような手順・方法で進められるのか、また、どのような留意事項があるかなどについての事例を示すことにより、主催する建設現場での活用役に役立つものにするるとともに、現場見学会の開催を望む学校等の教育関係者の方々にも参考にしていただけるものになっています。

第Ⅰ部 現場見学会マニュアル

1. 開催の調整の段階
 - 1-A. 見学依頼が現場にあった場合
 - 1-B. 現場側から招待する場合
2. 見学者側との協議
3. 現場見学会の実施計画の作成
4. 現場見学会チェックリスト

5. 現場見学会終了後のフォロー

第Ⅱ部 現場見学会で建設の仕事を実体験してもらう場合のポイント



「学校キャラバン実施マニュアル」の作成

小・中・高校生等を対象とした建設業を体験する出前講座「学校キャラバン」の実施マニュアルを新たに作成しました。

平成26年度から20回以上開催した実績を基に、開催校の設定、プログラムの作成、出展者・開催校との調整方法から、当日の実施、終了後のフォローまでを1冊にまとめています。チェックリストや各種調整資料(打合せシート、配置図、ローテーションシート、質疑応答書、朝礼・開会・閉会のシナリオ、等)についてデータが必要でしたらご連絡下さい。

第Ⅰ部「企画」

- ・企画から実施までの期間
- ・開催校の設定
- ・学校へのヒアリング・現地調査

第Ⅱ部「準備」

- ・開催プログラム・内容について
- ・出展者の選定について

- ・出展者・開催校との調整について
- ・プレスリリース・マスコミ・写真撮影

第Ⅲ部「実施」

- ・前日準備について
- ・当日準備について
- ・校長先生・教頭先生への挨拶
- ・朝礼(出展者ミーティング)の実施

・開会式

・閉会式

- ・片付け・搬出・その他留意事項

第Ⅳ部「終了後のフォロー」

・アンケート

- ・アンケートの集計・広報活動

第Ⅴ部「参考資料」



土曜日の教育活動推進プロジェクト①

～地域や企業の支援による教育力の向上～

＜土曜日の教育活動推進に向けた具体的方策＞

1. 学校教育法施行規則の改正
2. 土曜日教育ボランティア運動の推進
3. 土曜の教育活動推進プラン(平成26年度予算案)の着実な実施

1. 土曜授業の実施に係る学校教育法施行規則の一部改正

- 子供たちに、土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして土曜授業を捉え、設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を改正。

2. 土曜日教育ボランティア運動の推進

- 官民の連携によって、「土曜日教育ボランティア運動」を推進することで、子供たちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現。教育ボランティアへの参加者も、これまで学んだ成果を生かす自己実現の機会に。

土曜日教育ボランティア応援団の設置
(多様な賛同企業・団体で構成)



土曜日教育ボランティア推進本部の設置
(文部科学省) 本部長：文部科学大臣

連携協力

大臣以下
職員による
率先実行!!

＜今後の主な取組＞

- (企業等 ・ 賛同企業・団体等の協力による土曜日学習会など出前授業等の推進・普及啓発と連携) ・ 特設HP開設(企業・団体等の出前事業、学校や地域、PTA、おやじの会等の事例掲載)
 * 学校・教育委員会と企業・団体とをつなぐマッチングも実施予定
- (文科省) ・ 文部科学大臣が教える土曜日学習会(12月14日(土)板橋区立成増小学校で開催)
 ・ 文部科学省職員によるボランティア参画の促進(事前研修やフィードバック)

土曜日の教育活動推進プロジェクト② ～地域や企業の支援による教育力の向上～

3. 土曜日の教育活動推進プラン（平成26年度予算案）の着実な実施

①学校における質の高い土曜授業の推進のための支援策

土曜授業推進事業（1億円）

○質の高い土曜授業を推進するため、効果的なカリキュラムの開発、特別非常勤講師や外部人材、民間事業者等の活用を支援するとともに、その成果を普及。＜委託事業：全国約35地域（約175校程度）をモデル地域として指定＞

②地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための支援策

地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業（13億円）

○土曜教育コーディネーターや土曜教育推進員（企業人（現役・退職された方）や、公務員、研究者、在外経験者等多様な人材を想定）を配置し、年間10回程度の体系的・継続的プログラムの実施を通じて、土曜日の教育支援体制等を構築。
＜補助事業：小学校3,000校区、中学校1,500校区、高等学校等350校区＞

～これらの取組を着実に実施していくために～

＜土曜日の教育活動の円滑な実施のためのアドバイザーの委嘱＞

- 土曜教育コーディネーターを対象とした、産業界との協働による研修会の企画・立案
- 効果的な取組の実践や、学校や企業等のマッチングに関する指導・助言
 - ・学校と地域社会や産業界等との連携、企業ボランティア参画のための仕組みづくり
 - ・土曜日ならではの効果的なプログラムづくり 等

＜文部科学省職員によるボランティア参画の促進＞

- 土曜日の教育活動の推進のため、文部科学省職員によるボランティア参画を促進
- 教職経験のある職員による「教え方講座」など、事前研修やフィードバック

「土曜学習応援団」に御賛同ください ～全ての子供たちの豊かな学びのために～

文部科学省では、子供たちが社会で活躍する多くの大人に出会い、将来の夢や希望を持って学ぶ機会が充実するよう、多様な企業・団体・大学等に「土曜学習応援団」として賛同いただき、実社会での経験や強みを生かした出前授業等を行っていただく取組を積極的に推進しています。

未来を担う子供たち一人一人の可能性を最大限伸ばし、健やかに育むためには、子供たちが社会で活躍する多くの大人に出会い、将来の夢や志を持って学ぶ機会の充実が必要です。子供たちの豊かな学びのために、皆さまのお力添えをお願いいたします。

現在、土曜学習応援団には、**750以上**の企業・団体・大学等からご賛同いただいています。

- **それぞれの企業・団体・大学等の皆様の豊富な知識・ご経験を子供たちに届けませんか？**
* 幼稚園・保育園～高校までの子供への支援、親子での参加も可能
- **是非「土曜学習応援団」へのご賛同と、出前授業等の講師としてのご参加をお願いします。**
* 土曜日のほか、夏休みや冬休み、平日の授業や放課後等を対象

ご賛同いただいてから、出前授業等の実施までの流れ

1 土曜学習応援団の「賛同意向書」を文部科学省に御提出ください。

文部科学省より、サイトに掲載する情報を記入する「サイト登録票」（2種／企業・団体情報、学習プログラム情報）をメールにて送付

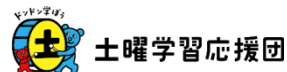
2 「サイト登録票」に必要事項を記載いただき、文部科学省に御提出ください。

「賛同意向書」と同時提出も可能です。

お送りいただいた「サイト登録票」をもとに
応援団としてWEBサイト等に情報を登録します。

サイトに掲載された情報を見た学校や教育委員会等から出前授業の依頼が来ます。（文部科学省に依頼・相談があった場合は文部科学省より御相談させていただきます）

3 出前授業等の実施



ワンクリックで**連携可能な企業・団体の情報**や、**実施可能な学習プログラム**に関する情報にアクセスできます！
その他、企業や団体等における教育活動に関する最新情報を掲載しています。

業種から探す

農業・林業・漁業・鉱業 (9)
建設 (4)
食品・飲料 (17)
電気・ガス・水道 (9)
出版・印刷 (5)
情報通信・映像・音声 (19)
医療・福祉 (7)
教育（学習支援・出張授業・通信教育） (70)
検定 (6)
金融・保険 (29)

【土曜学習応援団ホームページ】



- ・教科
- ・学習テーマ
- ・実施エリア
- ・対象学年
- ・開催可能日
- ・開催場所
- ・業種で検索できます

【文部科学省の土曜学習応援団WEBサイト】

URL: <http://doyo2.mext.go.jp>



「子ども霞ヶ関見学デー」の開催

【開催日】平成30年8月2～3日 【来場者】 4,780人

【建設産業戦略的広報推進協議会 実施プログラム】

○お弟子さん大募集！！～大工さん、庭師さん、アンカーさん～

〈協力団体〉（一社）全国中小建築工事業団体連合会、（一社）日本造園組合連合会、（一社）日本アンカー協会

○大胆なのに繊細！？～災害時も活躍、ショベルカーのデモンストレーション

日本キャタピラーグループ

○ぐるぐるまわろう！スタンプラリー（参加者へのグッズ配布）

〈協力団体〉（一社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、（一社）全国中小建設業協会、（一社）東京建設業協会、（一社）建設産業専門団体連合会、（一社）職人育成塾、日本室内装飾事業協同組合連合会、（独）勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部、東日本建設業保証（株）、キャタピラー教習所（株） 等

建設通信新聞(平成30年8月2日)

ショベルカーで書道を披露



国交省「子ども霞ヶ関見学デー」プログラム
中央厚の仕事を子どもたちに知ってもらうため、夏休み期間中に毎年開かれている「子ども霞ヶ関見学デー」が1日、東京・霞ヶ関の官庁街一帯で始まった。国土交通省プログラムの一環として、この日、ショベルカーに



【ショベルカー】



【大工職人体験】



【スタンプラリー】

子ども霞ヶ関見学デー来場者数の推移

単位：人

年度	1位	2位	3位	4位	5位
30年度	農水省	文科省	国交省	経産省	厚労省 環境省
	7,246	5,994	4,780	4,000	3,600
29年度	農水省	文科省	国交省	経産省	環境省 厚労省
	7,222	6,104	3,836	3,220	3,150
28年度	農水省	文科省	経産省	国交省	厚労省 環境省
	6,664	4,928	4,346	3,558	2,725
27年度	農水省	文科省	国交省	厚労省	環境省
	4,787	4,638	3,225	2,884	2,284
26年度	農水省	文科省	経産省	国交省	厚労省
	4,771	3,960	3,221	2,030	1,589
25年度	農水省	文科省	厚労省	外務省	国交省
	6,327	3,224	1,742	1,684	1,545
24年度	文科省	農水省	国交省	厚労省	総務省
	3,797	3,320	1,335	1,170	1,047



【アンカー職人体験】



【庭師職人体験】

WEBサイト「建設現場へGO！」



様々なジャンルからの
検索に対応！

地域で検索、専門職種で検索、
高校生・保護者などの対象で検索、
様々なジャンルからの検索に対応！

平成30年11月
「活用してみませんか？助成金」
特設サイトを開設！



新着情報・お知らせ

新着情報を
わかりやすく表示

イベントカレンダー

協賛団体等のイベントを
表示可能になりました。

スマホ・タブレット対応

様々な大きさの画面に
合わせたレイアウト表示
に対応！

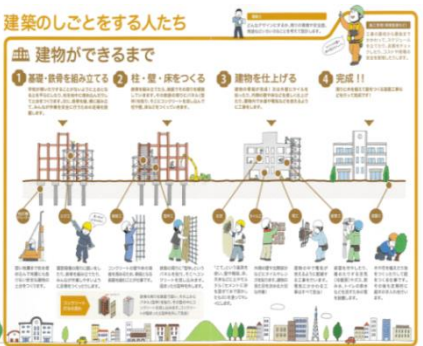
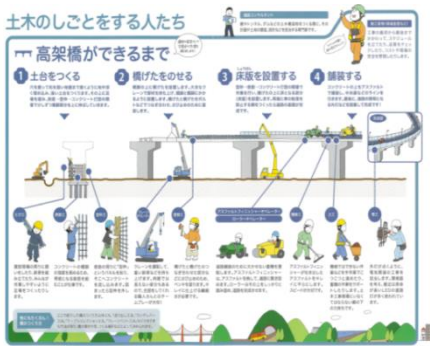


様々な機能を付けることで、より使いやすくなりました。
新着情報を募集しています。

「ニッポンをつくる人たち、まもる人たち」



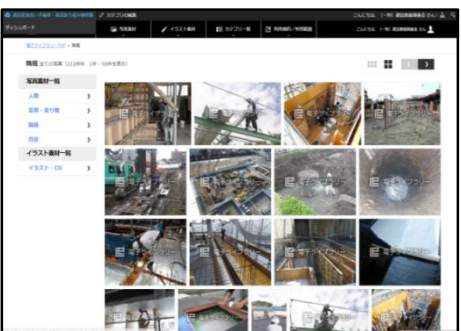
- ・【守る】
地域を守る取組についての項目追加
- ・【知る】
建設現場へGO！の広告を設置
- ・【働く】
建設労働者緊急育成支援事業の紹介
- ・QRコードによる誘導



取組事例データベース、電子ライブラリー



- ・取組事例総数: **410件**
- ・電子ライブラリー写真追加(計**926件**)



- ・開催日 平成30年3月1日(金) 13:00～17:30
- ・開催場所 全日通霞が関ビル8階大会議室A
- ・参加人数 110名
〔 都道府県協会50名、協賛団体28名、委員2名、
行政18名、事務局12名 〕

- ・議題
 - (1)「最近の建設産業政策について」国土交通省
 - (2)「建設人材確保・育成に係る取組について」厚生労働省
 - (3)「土曜学習応援団への登録について」文部科学省
 - (4)「平成31年度 建設産業活性化助成金について」
(一財)建設業振興基金
 - (5)「建設業振興基金における担い手確保・育成対策について」
(一財)建設業振興基金
 - (6)「各団体が行う担い手確保に関する取組について」
(建トレの活用・実務施工体験研修)富士教育訓練センター



夏のリコチャレへの参画

- ・開催日 平成30年8月8(水)～9(木)
- ・開催場所 日本大学駿河台キャンパス
- ・内容 女子中高生等に対し、
理工系の進路選択を促すイベント。
建設業界ガイドブック等を配布。



企画・広報分科会

- 【第1回】開催日 平成30年9月13日(木) 13:00～15:00
開催場所 (一財)建設業振興基金 7階会議室
- 【第2回】開催日 平成31年3月4日(月) 10:00～12:00
開催場所 (一財)建設業振興基金 5階会議室

【第1回】



【第2回】



「建設産業人材確保・育成推進協議会」の取組

構成団体(建設産業団体約60団体及びその各県団体等)における取組状況

対象	内容	取組団体数		
		H28年度	H29年度	H30年度
工業高校生等 向け	現場見学会	38	59	67
	出前講座・意見交換会	37	58	27
	インターンシップ	31	24	24
	資格取得への支援	23	25	11
	就職説明会	15	9	27
	冊子・DVD・ポスター等の作成・配付	20	40	24
	作品・作文等コンクール	5	6	3
	その他	0	22	36
	合計	169件 57%	243件 54%	219件 62%
高校教諭 向け	意見交換会・説明会	16	20	14
	現場見学会・出前講座・イベント	3	15	4
	その他	2	3	5
	合計	21件 7%	38件 8%	23件 7%
保護者 向け	現場見学会	2	9	10
	就職説明会	2	12	6
	冊子・DVD・ポスター等の作成・配付	3	8	4
	その他	0	3	5
	合計	7件 2%	32件 7%	25件 7%

「建設産業人材確保・育成推進協議会」の取組

構成団体(建設産業団体約60団体及びその各県団体等)における取組状況

対象	内容	取組団体数		
		H28年度	H29年度	H30年度
中学生 向け (保護者同伴含む)	現場見学会	7	9	6
	出前講座・体験イベント	9	11	9
	冊子・DVD・ポスター等の作成・配付	6	20	8
	絵画等コンクール	2	4	2
	その他	0	3	5
	合計	24件	47件	30件
		8%	10%	8%
小学生 向け (保護者同伴含む)	現場見学会	15	12	5
	出前講座・体験イベント	14	15	10
	冊子・DVD・ポスター等の作成・配付	4	10	1
	絵画等コンクール	3	3	2
	その他	0	2	3
	合計	36件	42件	21件
		12%	9%	6%
市民全般 向け	現場見学会・講演会	4	11	9
	パネル展示、DVD・ポスター作成・配付、 テレビ・ラジオ放送	33	27	12
	その他	0	13	14
	合計	37件	51件	35件
		13%	11%	10%
総合計		294件	453件	353件